

令和8年度第1回日進市地域公共交通会議 議事要旨

日 時	令和8年6月24日（水曜日） 午後2時30分から午後4時40分まで
場 所	日進市役所本庁舎4階 第2・3会議室
出席者	松本幸正（会長）、村野政章（委員）、中川恵（委員）、野田敏幸（委員）、久米裕之（委員）、若杉将成（委員）（代理：轟雄矢）、内藤真一（委員）、中野紗江子（委員）、原田光一郎（委員）（代理：小田春樹）、高臣綾子（委員）（代理：牧祐太郎）、鈴木正浩（委員）、村瀬義雄（委員）、神野建三（委員）、伊藤富子（委員）、改田真美（委員）、松岡坂重（委員）、水野隆史（委員）
欠席者	小林裕之（委員）、今井聡至（委員）、鈴木直宏（委員）、清本三郎（委員）
事務局	都市産業部 須田参事、同部都市計画課 三角移動政策室長、井筒主幹、加藤主任主査、中根主任
オブザーバー	建設部 道路河川課 伊戸川課長 福祉部 地域福祉課 小倉主任主査 同 部 介護福祉課 櫻木主任主査
傍聴の可否	可
傍聴の有無	あり（1名）

※ 会議は公開で開催した。

1 開会

- ・事務局から、委員の交代及び新任委員の紹介を行った。
- ・新たに委員となった名古屋鉄道株式会社地域連携部主務及び区長会代表からあいさつがあった。
- ・事務局職員及び関係部署職員の紹介を行った。

2 会長あいさつ

【会長】

- ・公共交通を取り巻く環境について、運転士不足、燃料費の高止まり、自動車依存、人口減少などにより、依然として厳しい状況が続いている。
- ・一方で、交通空白地対策の重要性が高まっており、日進市では、くるりんばす、名鉄バス、くるりんタクシー、福祉分野の移動支援など、多様な手段を組み合わせ市民の移動を支えている。
- ・今年度は地域公共交通計画の中間見直しも予定されているため、利用者ニーズや社会情勢の変化を踏まえ、委員の意見を聞きながらより良い公共交通体系を検討していきたい。

3 報告事項(1) 令和7年度運行実績について、(2) 令和8年度運行実績について

【事務局資料説明】

【委員】

- ・資料を見ると、梅森線については平成 30 年度や令和元年度と比較して利用者数が大きく低下している。
- ・他の路線と同じように議論するのではなく、路線ごとの役割や利用状況を踏まえて検討する必要があるのではないかと。

【事務局】

- ・路線ごとに利用目的や利用者層は異なるため、個別の分析が必要と考えている。
- ・梅森線については、特定バス停の利用状況が全体数値に大きく影響している可能性もあるため、その影響を除いた生活交通としての利用実態についても確認していきたい。

【委員】

- ・日進中央線は学生ニーズの高まりによって利用者数が増えているとのことだが、その他の路線について利用者の分析ができているところはあるか。

【事務局】

- ・現状で分析はできていないが、今年度の地域公共交通計画の中間見直しで利用者アンケートを実施するので、その中で見えてくる部分はあると考える。

【委員】

- ・循環線沿線に住んでいるが、実際には乗りたいという需要はある。
- ・しかし、2 時間に 1 本程度の運行や乗継ぎの分かりにくさなどにより、利用を諦めている高齢者も多い。
- ・利用者数が少ないことだけで需要がないと判断するのではなく、「利用したいが利用できない」という視点も必要ではないかと。

【事務局】

- ・路線再編後は利用方法が変化するため、一時的に利用者が減少する傾向がある。
- ・令和 6 年度からの新しい運行形態についても、現在利用定着を図っている段階であり、引き続き周知や利用促進に努める。

【会長】

- ・現在の路線は皆さんとこの会議の中で議論しながら値上げや走行範囲の拡大を決めたものであり、その結果が現状ということである。
- ・利用者数だけではなく、市民の生活を支える交通としての役割を踏まえ、路線ごとの特性を見ながら評価していく必要がある。

4 報告事項(3) 地域公共交通計画実施事業の進捗状況について

【事務局資料説明】

【委員】

- ・アンケートでは「希望する時間に乗れること」「歩かずに済むこと」が重視されている。
- ・利用可能時間を9時から16時までに延長した理由について確認したい。

【事務局】

- ・利用者ニーズだけではなく、タクシー事業者の車両運用状況も踏まえて設定した。
- ・朝夕は一般タクシー需要が高いため、空き車両を活用でき、利用者の移動需要にも対応できる時間帯として9時から16時までとした。

【委員】

- ・行きたい先はかなり便利に行けてしまうので他の公共交通機関を使わなくなるかと思いきや、アンケートからはタクシーと組み合わせて利用する方が一定数いることが読み取れて、いい意味で予想を裏切られた。
- ・今後のバスのあり方を検討する上で、このアンケートもぜひ生かしていただきたい。

【委員】

- ・利用可能な施設や時間帯などの制約をできるだけ減らし、より自由に利用できる制度にしてほしい。

【事務局】

- ・利用範囲を広げることは重要である一方、需要が供給を上回ると予約が取れない状況になる。
- ・利用したい時に確実に利用できるサービスを維持することを優先し、配車状況を見ながら段階的な拡充を検討する。

【会長】

- ・くるりんタクシーの利便性向上だけでなく、くるりんバス等の定時定路線交通への影響や受益者負担のあるべき姿も確認しながら、公共交通全体としてこの会議で議論していく必要がある。

5 報告事項(4)令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

【事務局資料説明】

【会長】

- ・1月の会議で皆さんに議論の上で自己評価してもらった内容を、国に提出した後評価された結果である。
- ・今後、計画にしっかりと盛り込んでいく必要がある。

6 議題(1)令和9年度地域間幹線・地域内フィーダー補助認定申請について

【事務局資料説明】

【会長】

- ・国の二次評価で指摘された現状把握や梅森線等の利用促進について、具体的な取組を進める必要がある。

【事務局】

- ・今年度実施するアンケートなどで現状把握や分析を行う。利用促進については、乗り方教室や地域説明会等を行うことで、今まで利用していない方へアプローチしていく。

【委員】

- ・最初から利用を考えていないような高齢者も一定数いる。シニアパス 75 のような施策を打っているということをもっとPRしてほしい。

【会長】

- ・周知というのは非常に難しく、なかなか効果的な方法というのは見つからないが、唯一効果的かつやらねばならないことは「周知し続けること」なので、しっかりと続けてほしい。

【委員】

- ・高齢者向け制度の周知だけでなく、子どもや若い世代を巻き込んだ利用促進策も検討してはどうか。

【事務局】

- ・令和3年度から、市内保育園の子どもに塗り絵を書いていただき、それをバスの車内に掲示し、ご家族に見ていただくような取組を継続して実施している。
- ・祖父母の世代まで含めてリーチできるよう、子どもを介したPRの方法を検討していく。

※ 議題(1)について、委員の承認を得た。

7 議題(2) 令和7年度歳入歳出決算について

【事務局資料説明】

【監査委員】

- ・決算内容について、令和8年5月15日に会計監査を実施し、収入・支出に関する帳簿及び関係書類を審査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されていることを確認した。

※ 議題(2)について、委員の承認を得た。

8 議題(3) 日進市地域公共交通計画の中間見直しについて

【事務局資料説明】

【会長】

- ・現計画に基づく運行に対して、利用実態等を把握するための重要なアンケートであるため、委員の皆様におかれては積極的にご意見いただきたい。
- ・本日出なかった意見については7月31日までに、事務局までお寄せいただきたい。

※ 議題(3)について、委員の承認を得た。

9 その他

【事務局】

- ・今年度の第2回会議は9月15日（火曜日）の午前9時30分から同じ会場で開催する。
- ・議題は、「地域公共交通計画の中間見直しに係る利用者向け、市民向けアンケートの内容について」を予定している。